

# 無量壽

第七号(平成二十五年夏号)  
発行 雲夢山壽命寺

## 盂蘭盆会



今年もお盆を迎えました。お盆は正式には盂蘭盆(うらぼん)といいますが、これはインドのウランバナという言葉の音写で「逆さまに吊るされる」という意味です。『仏説盂蘭盆経』というお経に次のような説話があります。

お釈迦様の弟子に目連(もくれん)尊者という方がいました。ある日、目連尊者が神通力で亡き母を探したところ、餓鬼道(常に飢えに苦しむ地獄)で逆さ吊りにされていることを知ります。それは生前目連尊者を育てるために他人にケチをしたことの報いでした。母を助ける方法をお釈迦様に尋ねると「もうすぐ夏の修業期間が開ける。その時に大勢の僧侶にご馳走をして供養しなさい」と教えられます。果たして目連尊者がその通りにすると、母は餓鬼道から救われたのです。このお話が起源となつて夏のこの時期を盂蘭盆と呼び、ご先祖を偲ぶ慣わしが始まったとされます。

しかし  
私たちの浄土

真宗では、この世を去

られたご先祖は阿弥陀如来

のはたらきによってお浄土

に生まれ、悟りを開いて仏となり、私

たちを仏の御教えに導いておられると

説かれます。ですから目連尊者のよう

にご先祖の「行く末」を案じて供養を

する必要はありません。否、必要がな

いではなく、できないのです。なぜ

なら私たちの方がご先祖から案じられ

供養されている存在なのですから。私

たちがご先祖を案じるというのは、そ

れこそ話がウランバナ(逆さま)と言

わねばなりません。私たちにできるの

は今は仏となられたご先祖の声に耳を

傾け、自分の生き方を仏法に照らして

見つめ直していくということに尽きま

す。そしてそれこそが、浄土真宗に生

きる者がご先祖を偲びお念仏するとい

うことの意味であると、心得なければ

なりません。

今一つ『仏説盂蘭盆経』に想うところがあります。目連尊者の母が我が子の為に他人へのケチで餓鬼道に落ちてしまったということについてです。身近な人に善かれとしたことで別の人に迷惑をかけてしまったことは、程度の差はあれ多くの人に覚えがあることと思います。そういう時私たちは往々にして、人助けのために仕方なかつたと迷惑への咎めをやり過ぎし、恩恵を受けた人からの謝意や賛辞だけを受け取つて、すっかり善い事をした気分

に落ち着いてしまっているのではないのでしょうか。

過ぎません。客観的に見れば私の行為で傷つけられた人が確かにいるのですから。目連尊者の母の餓鬼道落ちの顛末は、その事実から目をそらすことこそが一番の罪であると示しているのではないのでしょうか。所詮私たちの善行など及ぶ範囲が限られており、その外には却つて不利益を及ぼしてしまうことも多々あります。善い行いをしたと思ふ時ほど、自らを省みることが大切と知らされます。

お盆のご縁に、皆様と共に自身を見つめ直したいと思ひます。どうかお墓だけでなく、壽命寺の本堂にもお参りください。

合掌

秋が来たら

### ご家庭で報恩講を!

報恩講は親鸞聖人のご遺徳を偲んで勤める門徒にとって1年で最も大切な行事です。壽命寺は今年10月26、27日に勤めますが、これと前後して各ご家庭の御内仏でも必ず勤めるようにしましょう。

ご家族や身近な方だけの集まりでも結構です。荘厳も蠟燭を赤に替えてきれいに整える以外特別な事は不要です。住職を呼んで頂いても結構ですし、ご自分たちだけで読経しても構いません。親しい人と一緒に正信偈を心を込めて勤めましょう。不明なことは遠慮なく住職まで。

## 諸々の法要の勤修に向けて

壽命寺この先数年で次の4つの法要を勤めさせて頂く時機を迎えています。

### 【蓮如上人500回遠忌法要】

浄土真宗の「中興の祖」本願寺第8代宗主 蓮如上人の500回忌法要。本願寺では平成10年に勤められました。壽命寺では未修のまま今日に至っています。

### 【住職継職奉告法要】

新住職の着任をご本尊に奉告し、近隣寺院や関係各位に披露することで、住職・寺族・門徒が力を合わせて壽命寺の護持発展に努めていくことを誓います。

### 【親鸞聖人750回大遠忌法要】

宗祖の750回忌法要。本山では平成23年4月から翌年1月にかけて勤められ、壽命寺からは11月に団体参拝しました。一般寺院でも今後順次勤められます。門徒にとって最も大切な50年に一度の法要です。

### 【壽命寺開基400年慶讃法要】

当山開基は慶長19(1614)年とされますので、来年が開基400年に当たります。この地でお念仏が相続されてきたことを慶び、先人のご苦勞を忍び感謝する法要です。

それぞれ大切な法要です。今後協議して、別修か併修か、時期はいつ頃にするか等々、計画していきます。

ただし「蓮如上人五百回遠忌法要」は時期が大き過ぎていきますので、役員・総代で協議し、先行して来年五月十一日の永代経に合わせて勤めることといたしました。詳細は追ってご案内いたしますが、ご協力の程、よろしく願いいたします。

その他の法要の計画も順次お知らせしますので、まずは、この先数年のうちにこれらの法縁をお迎えするということをご承知おきください。

平成二十六年  
年忌  
繰出

#### 【今後の予定】

- \*8/24 鑽仰会特別布教大会
- \*10/26-27 報恩講
- \*12/31 除夜会
- \*H26/1/1 元旦会
- \*5/11 永代経、蓮如上人  
500回遠忌法要

上記詳細やその他の情報は  
随時下記ウェブサイトでご  
確認ください。

<http://jumyouji.net/>